

川内支所管内の廣瀬佳輝さん（59）は、今年、4月14日から田植えを開始しました。約5畝を

栽培しており、約600枚に及ぶ稲苗はすべて自家製です。例年は4月7日頃より作業を開始していましたが、数年前、田植え直後にカモ類の捕食被害に遭いました。器具等による適切な対策がなかったため、田植え作業の時期を約1週間以上遅らせて、カモ類の飛散後に作業を

行うことによって、被害を防いでいます。廣瀬さんは、川内カワフラー部会長の部会長を務め、カワフラーを約1.8畝栽培しており、8月初旬は定植作業が始まります。稲苗の半数は「ハナエチゼン」残りを「コシヒカリ」に振り分けることで、稲刈り作業の時期を分散させています。が、田植え作業の開始時期が遅くなることで、稲刈りと定植作業の重複で、一時的な負担が非常に大きくなります。

廣瀬さんは、「自然の恩恵は、災害や鳥獣被害と表裏一体。折り合いをつけながら今後も生産に励みたい。」と話しました。



農産物の再生産価格の実現を!

緊急署名

別紙に署名用紙を折り込んでおりますので、ご署名いただきJA徳島市職員にお渡しください。
締め切り：6月末

署名はJA徳島市で7,000人

農畜産物の生産に欠かせない肥料、燃料、飼料などは、かつてない値上がりが続いています。国産農畜産物は加工食品などと比べて価格転嫁が難しい中、私たちは、「消費者の方々に国産の農畜産物を毎日手にしていただきたい」との思いを胸に、必死に努力を続けてきました。しかし、農業生産の維持が困難な状況が続いております。将来、農業が衰退した先に待ち受けるのは「食料不足」だけではありません。防災や景観維持、生物多様性など、「農業の多面的機能」の恩恵も受けられなくなります。

今後とも食料の安定供給を担う農業を維持するためには、「農業が続けられる再生産価格の実現」が必要です。

これらのことを国・県へ訴えるために、JA徳島市として組織一体となり、緊急署名活動を行います。組合員、生産者の皆様方には、ご協力をお願いいたします。

逼迫する農業情勢のもと、農家組合員等が置かれている厳しい実情「声」を集約し、国や県行政に訴えかけるため、「農畜産物の適正な価格形成に向けた緊急署名活動」をJAグループ徳島を基軸に関係団体等との連携も踏まえつつ実施致します。



稲苗出発式 安定受給の態勢万全

アグリサポートセンターは、4月12日に稲苗出発式を開催し、出荷を開始しました。

今年のアグリサポートセンターへの予約注文数は約9.3万枚、「コシヒカリ」の発注枚数が最多で、約5.8万枚、「あきさかり」は約3.5万枚です。

出発式を行った岩井公章常務が、管内の早場米の産地・川内支所管内の清水正宏さんに稲苗を渡し、「今年は気温が高く、徒長気味で管理に苦労したが、健康な苗を供給できるように引き続き管理に徹底したい。」と話しました。

稲苗出荷のピークは「ゴールデンウィーク」を予定しています。

また、2月末に新設された育苗ハウスが、今年度から水稲育苗作業用施設として利用され、施設では、高齢者雇用に加え、就労継続支援A型事業所2社と提携し、農福連携の促進を進めています。

岩井公章常務は、「今年は米の需給環境の好転が見込める、稲苗安定供給の態勢が万全に整ったので、組合員の皆様には、今後も安心して生産に励んでほしい。」と話しています。

【写真は、岩井常務（左）より稲苗を受け取る清水さん（右）】

春ブロッコリー出荷スタート

3月末より春ブロッコリーの出荷が始まりました。

春の推奨品種は「おはよう」、「SK9099」、「グラントーム」、「サミット」、「かいせい」です。

応神事務所管内の寺沢豊さん（75）は1月10日に定植したものを、3月26日から収穫しています。3.3畝の内、春ブロッコリーの作付けは約80㎡。ブロッコリー統一部会では、年明けに定植し、ハウスや被覆資材を使用して栽培されたものを「春ブロッコリー」として出荷しています。昨年度の春ブロッコリーの出荷量は、全体の約19%を占めました。

今年、3月中旬から急激に気温が上昇し、成長が進んだことにより、例年よりやや早めの時期から出荷がありました。現在、主に出荷されているのは、トンネル栽培のものが多く、今後、ハウス栽培や不織布等の被覆栽培のものも増加します。ピークは、4月下旬から5月上旬を予測しており、収穫は6月中旬まで続く予定です。

寺沢さんは「春ブロッコリーは温度管理に最も注意が必要。高品質なものを出荷できるように努めたい。」と意気込んでいます。





第54回女性部 通常総会

JA 徳島市管内の情報をお届け

トピックス



JA徳島市女性部は4月21日、本所で第54回通常総会を開き、女性部員やJA役職員ら77人が参加しました。感染リスク低減のため人数制限を行い、開催しました。

総会では、林容子女性部長が「今年度も、JA女性組織メンバーの一人一人が相互に助け合い、支え合う『協同の力』を発揮し、地域で何ができるかを考え、協力し合い、地域活性化を目指す。」と力強く挨拶しました。

川内支所の瀬山佳枝部長が議長を務め、昨年度の収支決算や、今年度の収支予算(案)など全議案を可決しました。

松田組合長は、「今後も地域・組織に明るい光を照らし、活性化させてくれる女性部活動にJAとして全面的に協力していきたい。」と話しました。

【◀写真上は林部長、左下は松田組合長、右下は瀬山部長】

枝豆統一部会 出荷協議会



4月21日、枝豆統一部会は北部営農経済センターにて出荷協議会を行い、生産者、市場関係者、JA担当者30名が参加しました。

販売情勢について、市場からは、共撰出荷品を主として、品質が安定していることから、関西市場からの需要が高いとの評価を受けました。

JA指導員からは、栽培管理の注意点として、特に花芽形成時期の水分管理について周知があり、この時期に高温・乾燥を防ぐことが、莢つきの良否を決定することから、朝・または夕方に畦間に軽く水を流すこと等の喚起がありました。

販売方針等においては、出荷時の検査・生産者への指導強化、品質均一化及び強化を目的とした目標らし会の開催、消費者のニーズに応えるため、海の日等の休日出荷対応の実施、「あわっちゃまめ」のブランド力強化などの取り組みが挙げられ協議されました。

北部営農経済センター 営農課 藤川真澄課長は、「コロナが落ち着いたことから、消費需要が高まる見込みであり、消費宣伝活動を活発に行い有利販売に努めたい。」と話しています。初出荷は5月5日頃を予定しています。今年度、同部会では、栽培面積102.4㌔で出荷数量512㌔、(前年比123%)、販売金額3億5千8百万円(前年比125%)1㌔あたりの単価700円を目指します。

【▲写真は、出荷協議会で挨拶する前川久部会長】

ハウス青柚 圃場巡回



佐那河内支所ハウス柚部会のハウス青柚の生産者は、4月11日、圃場巡回を行いました。ハウス青柚は、毎年4月初旬から8月中旬に出荷されており、今年は4月3日に初出荷がありました。

巡回では、加温開始日と調整温度、ビニールの被覆日等を調査し、各生産者の出荷時期や出荷予想量の見極めを行いました。

今年度産は、夏期剪定後の気温が高かったことから、出荷が例年よりやや少ない傾向です。

青柚は、冬季に出回る黄色い柚子の若い実であり、熟したものに比べ、キレのある爽やかな酸味と香りが特徴です。特に、冬の温度管理の注意と、ハウス施設の管理を徹底し、厳重に栽培が行われています。果実は、直径4.3㌔～5.4㌔で出荷しており、果汁だけでなく、皮をすりおろし、薬味としても使用されます。

今年、ハウス青柚は、4万ケース(1㌔あたり250㌔・5玉)の出荷を見込んでおり、大半が関西方面に出荷される予定です。【写真は、果実の測定をする柏木和生部会長】

甘藷植え付け作業 着々と



川内支所管内では、4月から甘藷の植え付け作業が盛んに行われており、川内甘藷部会の笹田孝さん(75)も4月1日から、3㌔の圃場で甘藷の芋ツルの植え付け作業を始めました。

芋ツルは、ポット苗を2月末に定植して育苗ハウスで成長させたもの。ツル切りは本葉が等間隔で5、6枚の状態です。ツルを一定にします。定植は、一本一本のツルの形状を確認しながら、向きや深さを微調整し、全て手植えで作業します。甘藷は、定植後、湿度のある環境が最適のため、マルチにメーデルシートを貼り付け、その上から砂を被せます。約10万本の定植作業が、6月10日頃まで行われる予定です。

笹田さんは、「常に葉の色や状態の観察を欠かさず管理していく。肌が滑らかで美しく色鮮やかで艶の良いものを目指し、手間暇は惜しまない。毎年、出荷するときは愛娘を嫁に送り出す気持ちだ。」と愛情を込めます。

同部会では、約120戸が135㌔での栽培を計画しており、出荷は7月上旬から始まります。

**営農経済指導渉外員
辞令交付・進発式・研修会**

4月13日、本所にて営農経済指導渉外員の辞令交付式を行いました。今年度は14名の営農経済指導渉外員を任命し、進発式・研修会を行いました。



研修会では、出向く営業体制による、ふれあい活動を強化し、組合員及び利用者との信頼関係の構築、また、農家所得増大のために生産コストの抑制につながる提案及び経営指導に尽力できるよう、意識の統一を図りました。

**金融共済担当者
辞令交付・進発式 研修会**

4月13日、本所にて渉外トレーナー、金融共済渉外、金融窓口インストラクター、融資渉外の各担当者の辞令交付式、進発式を行いました。

進発式では、出席者を代表して、川内支所の立田壮一郎 金融共済渉外（L A）が「『出向く営業体制』を通じてライフイベントに応じた商品・サービスを提供し、組合員・利用者一人一人との関係強化を図ることで、満足度向上に努めます。」と力強く決意表明をしました。また八万支所の森 健人 金融共済渉外（L A）の発声に続き「頑張ろう三唱」で一致団結し、士気を高めました。

「苗半作」籾巻きから学んで 小学校でもみ播き体験学習

多家良支所青壮年部の高曽根督也部長、瀬畑俊夫さん、福高和宏さん、武内雅弘さんは、4月25日、徳島市立宮井小学校5年生の児童15人を対象に、もみ播き体験学習を実施しました。

児童は、部員らに教わりながら育苗箱にロックウールマットを敷き、水を吸い込ませ、もみを播き、覆土をしました。アーチの支柱とシルバーシートでトンネルを設営し、トンネル内でもち苗を育苗し、5月中旬には田植えを行う予定です。



高曽根部長は、「『苗半作』という言葉のとおり、苗の出来によって作柄の半分が決まる、とても重要な工程なので、籾巻き作業から稲作について、しっかりと学んでほしい。」と繰り返し児童に伝えていました。12月中には全校生徒が収穫した餅米で餅つきを行う予定です。

**令和4年度 農山漁村女性活躍表彰
農林水産省経営局長賞
女性地域社会参画部門（個人の部）で
植田美恵子さんが表彰を受けました。**

植田さんのこれまでの活動

平成13年、県主催の女性農業経営者研修会に参加した女性農業経営者14名で「徳島県女性農業経営者ネットワーク（愛称ゆめネット）」を立ち上げ、初代代表を務めた。

ゆめネットでは、勉強会、会員同士の訪宅研修、消費者との交流、男女共同参画、食農教育、女性農業者の社会参画の推進等に取り組んできた。

平成14年に徳島県指導農業士に認定され、農業士会の役員を歴任し、研修の受け入れ等、地域の農業者育成を行っている（現：名誉指導農業士）。農業経営のかたわら、食農教育にも積極的に取り組み、長年、小学生の農業体験学習の受け入れ、食の授業、給食への食材提供などを行っている。また、次代を担う女性農業者にもこれらの取組を引き継いでほしいとの思いから、女性農業者の仲間づくりや情報交換・学びの場作りを呼びかけ、アドバイザーとして若手女性農業者ネットワーク「阿波アグリガールズラボ」の設立に尽力。

平成26年より徳島市農業委員を務めている。

**東部営農経済センター森加容子職員が
植田さんにインタビューさせていただきました。**



（森職員）：徳島の農業をどの様に考えられていますか。

（植田さん）：徳島県は、吉野川、那賀川の2つの一級河川に恵まれ、自然条件や、肥沃な土地が農業には適した環境であり、また、京阪神へのアクセスが良好な点を含め、まさに第一次産業にはうってつけの県です。その土地を活かせるように、農業政策には県としてもっともっと力を入れていただきたい。まずは、普及員の増員を行ってほしいです。



（森職員）：将来の農業に対してはどのように思われていますか？

（植田さん）：農産物の生産を維持する「仕組み」を国単位でつくるべきだと思います。

一時的な給付金等による支援ではなく、今、国・自治体が投資すべき部分は、将来の明るい農業が見通すことのできる「仕組み」をつくることだと思っています。

誰しも先祖伝来の農地を守っていききたいという思いはあります。しかし、現状では、将来、農業だけで生活の基盤が成り立つかといえば疑問です。子どもや孫に、胸を張って「農業を継ぎなさい」と言える農政の確立が重要な課題なのではないでしょうか。

（森職員）：植田さんが取り組まれてこられた「食育」について今、思っておられることを教えてください。

（植田さん）：「食」と「農」の乖離が進む現代社会では、実際に大人でも農作物がどの様に生産されているかを知らない人もいらっしゃいます。

未来を担う子どもたちに「食農体験」を通じて、理解をすすめてもらうため、約20年にわたりボランティアで地元の子どもたちに食育を実践してきました。

（森職員）：甘藷の植え付け、収穫体験。「とくしま農と食かるた」の作成や旬の野菜の食育授業などですね。

（植田さん）：まだまだ、深刻な問題は山積しています。地殻変動、地球温暖化によって作物の生産に及ぼす影響や鳥獣被害。このような課題に対して、地道な努力になりますが、一定の社会的な理解ができる年齢になれば、子どもたちに、環境学習と第一次産業学習を組み合わせた実地学習を実践していくべきだと思います。「環境保全」、「農業生産」、「日本の食料自給率」、「適切な消費」等のあらゆる課題は、すべてが繋がっているからです。

将来、学習・体験を行った子ども達の中のほんの数は、第一次産業の担い手になります。そして、担い手にならなかった子どもたちも、必ず100%が消費者になるという現実を忘れてはいけません。

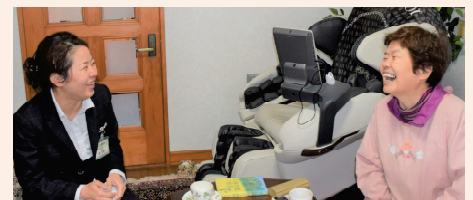
自然の中では、スマートフォン、タブレットや、机の上で学習するだけでは得られない、五感の刺激があります。太陽の温かさや、風の心地よさを五感で感じることによって、きっと心は耕されます。

頭で考えるだけではなく、心で感じることは子どもにとって、なによりも重要です。

そして、土、太陽、水の力で作物はできることを五感を使って理解してほしいです。

また、少々の怪我をすることも一つの大切な経験です。なぜなら、自分の身をもって経験することによって、人間として身に着けるべき応用力が身につくと思っているからです。

（森職員）：「痛かった」という経験をすることから、子どもたちに、他者も傷つけてはいけない事を感じてほしいですね。「食農体験」は現代社会が抱える「教育問題」解決の糸口になることを願います。



健康 百科

「血液腫瘍の種類について」

徳島往診クリニック 吉田大介

みなさん、こんにちは。徳島往診クリニックの吉田です。

前回お話ししたように、造血幹細胞は共通骨髄系前駆細胞から顆粒球・単球前駆細胞と巨核球・赤芽球前駆細胞へ、共通リンパ系前駆細胞からT細胞やB細胞へと分化します。これらの分化の課程で、「がん遺伝子」や「がん抑制遺伝子」に異常が生じると様々な血液腫瘍が発生してしまいます。「がん：癌」とは、遺伝子変異が生じることで引き起こされる自律的な細胞増殖を特徴とした疾患です。がんを引き起こす遺伝子を「がん遺伝子」、逆にがんを抑制する機能を持っているのに変異によってその機能を失い発がんにつながってしまう遺伝子を「がん抑制遺伝子」と言います。

血液腫瘍には、次の様なものがあります。

1. 骨髄系腫瘍：①急性骨髄性白血病 (acute myeloid leukemia:AML)
②骨髄異形成症候群 (myelodysplastic syndromes:MDS)
③慢性骨髄性白血病 (chronic myeloid leukemia:CML)
④骨髄増殖性腫瘍 (myeloproliferative neoplasms:MPN)

これらの内、③CMLは自己複製機能を有する造血幹細胞レベレ (hematopoietic stem cell:HSC) の未分化な細胞に異常が生じ、フィラデルフィア染色体上に形成された融合遺伝子が恒常的活性型チロシンキナーゼとして機能することで発症します。ちょっと難しいですが、これを標的としたチロシンキナーゼ阻害薬が開発されたことで、様々ながんの治療に画期的な効果をもたらされました。④のMPNもHSCレベルの未分化細胞に変異が生じて発症します。①AML②MDSは、HSCレベルの細胞に遺伝子異常が起こるか、自己複製能をもたない前駆細胞レベルの細胞に自己複製能を持たせる遺伝子異常が起こって発症します。また、MDSの状態にさらに遺伝子異常が順次加わることによりAMLへと進展します。

2. 悪性リンパ腫

①B細胞性リンパ腫：Bリンパ球の成熟過程で、B細胞は抗原から刺激を受けるとリンパ節に移動して胚中心を形成します。胚中心では、様々な抗原に対して親和性を得るために遺伝子の損傷リスクが大きくなり、そのため発がんリスクが高まることで、B細胞性リンパ腫でも頻度の高い、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 (diffuse large B-cell lymphoma:DLBCL) や、濾胞性リンパ腫 (follicular lymphoma:FL) ・バーキットリンパ腫 (Burkitt lymphoma:BL) が生じます。

②T/NK細胞性リンパ腫：リンパ球のうち、Tリンパ球またはNKリンパ球が発がん化する病気です。そのうちのひとつ、成人T細胞白血病リンパ腫は、HTLV-1というウイルスがT細胞に感染し、がん化した細胞(ATL細胞)が増殖することで発症します。HTLV-1に感染した人が、一生のうちに成人T細胞白血病リンパ腫を発症する確率は約5%とされています。HTLV-1の主な感染経路は、母乳による母子感染です。日本では、全国で母子感染予防のための対策が行われています。

3. 多発性骨髄腫：Bリンパ球の最終分化段階で抗体を産生する「形質細胞」が癌化して、主に骨髄内で増殖する疾患です。単クローン性高ガンマグロブリン血症と呼ばれる前がん病変からくすぶり型骨髄腫の段階を経て多発性骨髄腫に進展します。疫学的には、高齢者に多い病気です。

令和5年産 水稲肥料・農薬試験について

令和5年度は各エリアにて、下記の水稲肥料・農薬の試験を実施しております。対象試験圃場については、各営農経済センターへお問い合わせ下さい。

1. 【水稲肥料試験】 実施期間：4月～8月

①水稲一発肥料 15kg袋

特徴：15kg袋にし作業省力化を目指した水稲一発肥料

②水稲一発エコケッコー(早生)15kg袋

特徴：国内未利用資源(鶏糞)を配合し、作業省力化を目指した水稲一発肥料

2. 【水稲農薬試験】

<水稲箱処理剤> 実施期間：4月～7月

①ブーンパディート 剤型：粒剤、規格：1kg

特徴：いもち病に高い効果を示す、新規の抵抗性誘導剤『ブーン(一般名：ジクロベンチアゾクス)』を配合。さらに、初期害虫、チョウ目害虫を総合的に防除可能。

②ブーンアレス 剤型：粒剤、規格：1kg

特徴：いもち病に高い効果を示す、新規の抵抗性誘導剤『ブーン(一般名：ジクロベンチアゾクス)』を配合。さらに、1成分でウンカ類、初期害虫、チョウ目害虫と幅広く効果を発揮する新規殺虫剤『アレス(一般名：オキサゾスルフィル)』を配合。

③稲大將 剤型：粒剤、規格：1kg

特徴：3成分で水稲の主要病害虫と細菌性病害の防除が可能。

・1成分でウンカ類、初期害虫、チョウ目害虫と幅広く効果を発揮する新規殺虫剤『アレス(一般名：オキサゾスルフィル)』を配合。

・新規殺菌成分が紋枯病に高い効果を示します。

④ビルダーリディアEV 剤型：粒剤、規格：1kg

特徴：3成分で水稲の主要病害虫と細菌性病害の防除が可能。

・1成分でウンカ類、初期害虫、チョウ目害虫と幅広く効果を発揮する新規殺虫剤『リディア(一般名：フルビリミン)』を配合。

・水稲のいもち病、紋枯病、イネミズゾウムシ、イネドロオウムシを長期にわたり防除。

<水稲除草剤> 実施期間：4月～6月

①ラオウ 剤型：ジャンボ剤、規格：300g

・4成分の新規除草剤。

・除草剤成分3種による幅広い除草効果と、ダイムロンによる薬害軽減効果で安全性を有します。白化剤を配合し、飼料用米専用品種での使用も問題ありません。

②ルンバ楽粒 剤型：楽粒、規格：250g

・新規高拡散性製剤「楽粒」です。風向きが良ければ、1ha水田でも一辺散布が可能です。

・ノビエや多年生雑草防除雑草(クログワイ、オモダカ、シズイ等)、ALS阻害剤抵抗性雑草(オモダカ、コナギ、ホタルイ等)やイボクサにも高い効果を発揮します。

③サラブレッドGO 剤型：ジャンボ剤、規格：400g

・ノビエや多年生雑草防除雑草(クログワイ、オモダカ、シズイ等)、ALS阻害剤抵抗性雑草(オモダカ、コナギ、ホタルイ等)にも高い効果を発揮します。

④ウルティモZ 剤型：ジャンボ剤、規格：350g

・新規有効成分サイラ配合。

・ノビエや多年生雑草防除雑草(クログワイ、オモダカ、シズイ等)、ALS阻害剤抵抗性雑草(オモダカ、コナギ、ホタルイ等)、イボクサにも高い効果を発揮します。

理事会だより(令和5年4月28日)

協議事項

- (1) 第54年度通常総会の開催について【可決】
- (2) 事業計画の変更について【可決】
- (3) 令和4年度固定資産減損会計について【可決】
- (4) 旧中部出張所の売却について【可決】
- (5) 定款の一部変更について【総代会提出議案】【可決】
- (6) 借入金の最高限度について【可決】
- (7) 貸付金利率の最高限度について【可決】

- (8) 内部統制システム基本方針の一部変更について【可決】
- (9) 内部者取引管理規則の改正について【可決】
- (10) 令和5年度コンプライアンス実践計画について【可決】
- (11) 令和4年度徳島県による常例検査に対する回答書について【可決】
- (12) 本所基本構想の取り組みについて【可決】
- (13) その他

報告事項

- (1) 内部統制システム基本方針の令和4年度運用状況について
- (2) 令和4年度コンプライアンス実践計画の取組結果報告について
- (3) 反社会的勢力との取引排除および疑わしい取引の届出等組織犯罪等の防止にかかる対応状況について
- (4) 苦情等の受付対応実績報告について
- (5) 事務リスク管理規程に基づく事務ミス等の発生状況と自主検査の結果および改善方針について
- (6) 債権回収について
- (7) 令和4年度みのり監査法人による期末監査Ⅱ(財務諸表)の実施について
- (8) 令和4年度余裕金運用状況報告等について
- (9) 旧中部出張所売却に係る入札結果について
- (10) 理事会決議事項処理状況報告
- (11) その他

余ったお米 買い取ります

昨年に引き続き、
令和4年産米の
集荷を実施します。

集荷日時、場所につきましては、別紙折込みチラシに掲載させていただいておりますので、ご確認ください。

代金の精算は、6月中を予定しています。

買取単価表(手取り額) 【税込】 単位：円

品種	1等	2等	3等
コシヒカリ	4,800	4,650	4,150
あきさかり	4,200	4,050	3,550
ハナエチゼン・キヌヒカリ	4,000	3,850	3,350
その他うち	4,000	3,850	3,350

島田清弁護士の無料法律相談

日時 第3土曜日 9:00～12:00

申込先 金融共済部へ事前に予約が必要

☎088-622-8003

場所 本所1階金融相談室

賀上延啓税理士事務所の無料税務相談

日時 6月6日(火)、12日(月)、27日(火)

9:30～15:00

※6月につきましては、上記日程で開催させていただきますので、ご注意ください。

申込先 総務部へ事前に予約が必要

☎088-622-6335

場所 本所1階金融相談室